



## 第 13 章 Web プロキシ デバイスの設定

Web プロキシ デバイスは、HTTP、FTP(ファイル転送プロトコル)、NNTP、DNS など、ネットワーク サービスのユーザ要求に関連する追加データを MARS に提供します。これらのデバイスはデータをキャッシュに格納し、データの要求に関連する追加サービスを実行します。これらの追加サービスにより、セッション要求に関するデータが MARS に提供されます。データには認証ログ、Web プロキシ デバイスによって適用される ACL(アクセス制御リスト)に基づいて拒否されたセッション要求、およびトラフィック ログなどがあります。

この章の具体的な内容は次のとおりです。

- ・ Network Appliance NetCache Generic

### Network Appliance NetCache Generic

ここで説明する内容は、次のとおりです。

- ・ Syslog を MARS に送信するための NetCache の設定
- ・ MARS での NetCache の追加および設定

### Syslog を MARS に送信するための NetCache の設定

NetCache デバイスおよび MARS のクロックを同期して、時間を一致させます。



**注** MARS がサポートするのは、HTTP プロキシ ログおよび MMS ストリーミング メディア プロキシ ログのみです。

MARS に Syslog を送信するように NetCache を設定する手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** Internet Explorer で NetCache デバイスの URL を入力し、ログインします。

**ステップ 2** **Setup** タブをクリックします。

**ステップ 3** ウィンドウの左側で **HTTP** を選択してから、**Logging** を選択します。

**ステップ 4** ウィンドウの右側の **Web Access Log Enable** で、**Enable the Web Access Log** チェックボックスをオンにします。

**ステップ 5** **Log Format** で、最初の 4 つのフォーマットのうちの 1 つを選択します。

- ・ Web Access Log Default Format
- ・ Common Log Format
- ・ Netscape Extended Format
- ・ Squid Type Format

**ステップ 6** Web Details Log Enable で、チェックボックスが **オフ**であることを確認します。

**ステップ 7** **Commit Changes** をクリックして、変更を保存します。

**ステップ 8** ウィンドウの左側で **Streaming** を選択してから、**Logging** を選択します。

**ステップ 9** ウィンドウの右側の Streaming Access Log Enable で、**Enables access logging for streaming protocol clients** チェックボックスをオンにします。



**注** ストリーミング キャッシュ ライセンスを保持している場合は、ストリーミング プロトコル クライアントのアクセス ロギングのみをイネーブルにできます。

**ステップ 10** Streaming Access Log Format で、いずれかのオプションを選択します。**Custom** を選択した場合は、「x-client-port」を「x-username」に置き換えます。

**ステップ 11** Streaming Details Log Enable で、チェックボックスが **オフ**であることを確認します。

**ステップ 12** **Commit Changes** をクリックして、変更を保存します。

**ステップ 13** ウィンドウの左側で **Streaming** を選択してから、**MMS** を選択します。

**ステップ 14** **MMS Enable** で、**Enables MMS protocol support** チェックボックスがオンであることを確認します。

**ステップ 15** **Commit Changes** をクリックして、変更を保存します。

**ステップ 16** ウィンドウの左側で **System** を選択してから、**Logging** を選択します。

**ステップ 17** ウィンドウの右側の Maximum Log File Size で、100 以下の数値(メガバイト)を入力します。

**ステップ 18** How to Switch Log Files で、**Push the log file to the following URL** を選択します。

**ステップ 19** URL に対して、次のように入力します。

`http://MARS_HOST/upload/UploadWebLogServlet`

`MARS_HOST` を MARS アプライアンスのホスト名または IP アドレスに置き換えます。

**ステップ 20** User および Password フィールドが空白であることを確認します。

**ステップ 21** **Push the log files in compressed gzip format** チェックボックスが **オフ**であることを確認します。

**ステップ 22** When to Switch で、ログ ファイルが 100 メガバイトを超えないように設定するオプションを選択します。

**ステップ 23** **Commit Changes** をクリックして、変更を保存します。

## MARS での NetCache の追加および設定

MARS に NetCache デバイスを追加する手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** **Admin > Security and Monitor Devices > Add** の順に選択します。

**ステップ 2** Device Type リストで、**Network Appliance NetCache Generic** を選択します。

Device Type: Network Appliance NetCache Generic ▼

→ \*Device Name:

→ \*Reporting IP: ...

→ Web log format:  ▼

→ Streaming media log format:  ▼

COMMON\_ACCESS\_LOG  
SQUID\_LOG  
NETSCAPE\_EXTENDED\_LOG  
NETCACHE\_WEB\_ACCESS\_DEFAULT\_LOG

Back Submit

143266

**ステップ 3** デバイス名およびレポート IP アドレスを入力します。

**ステップ 4** Web log format リストで、「Syslog を MARS に送信するための NetCache の設定」のステップ 5 で選択した値と一致する Web ログ フォーマットを選択します。

**ステップ 5** Streaming media log format リストで、ストリーミング メディア ログ フォーマットを選択します。

**ステップ 6** Submit をクリックします。

